

**2021年度第3四半期
決算説明資料**

2021年11月5日

株式会社太陽工機
(証券コード:6164)

1



第3四半期
決算概要

2



経営戦略・
トピックス

3



Q&A

Financial Results
**第3四半期
決算概要**

受注高

59.9 億円 前年同期比 + 99.9 %

- ▶ 引き続き増加基調、前年同期比倍増
エリアでは中国・日本、業種では産業機械・工作機械関連が好調

売上高

44.4 億円 前年同期比 ▲ 20.0 %

営業利益

2.4 億円 前年同期比 ▲ 44.7 %

営業利益率

5.5 % 前年同期比 ▲ 2.5 p

- ▶ 2020年度の受注減を主因に減収も、前四半期より増収増益へ転換
通期業績は、再度増額修正し営業利益5.4億円、営業利益率8.1%

年間配当

1株あたり 30 円 (前年同額)

- ▶ 期末配当は15円を予定 (変更なし)

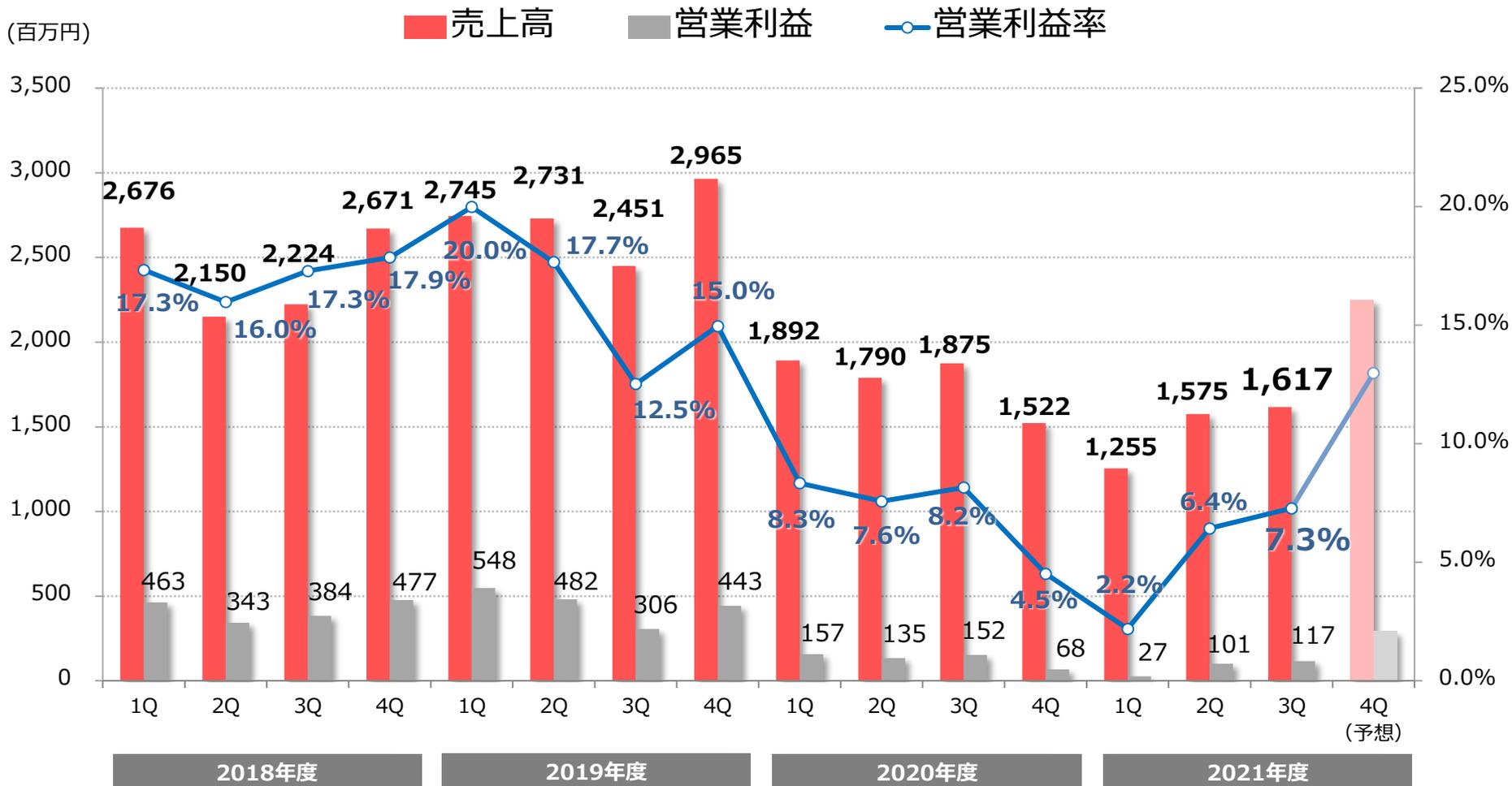
受注倍増により、回復基調

(百万円)	3Q (1-9月)		前年同期比
	2020年度	2021年度	
受注高	2,998	5,993	+ 99.9%
売上高	5,559	4,449	▲ 20.0%
営業利益	446	246	▲ 44.7%
営業利益率	8.0%	5.5%	▲ 2.5 p
経常利益	444	300	▲ 32.4%
当期純利益	298	202	▲ 32.1%

2度目の増額修正、利益は前期を上回る見込み

(百万円)	通期(1-12月)				
	2020年度 実績	2021年度 計画			
		当初計画 2021.2.12公表	修正前(①) 2021.8.5公表	修正後(②) 2021.11.5公表	増減(②-①)
受 注 高	4,269	6,500	7,000	8,500	1,500
売 上 高	7,082	6,000	6,400	6,700	300
営 業 利 益	515	250	360	540	180
営 業 利 益 率	7.3%	4.2%	5.6%	8.1%	+2.5 p
経 常 利 益	516	250	410	590	180
当 期 純 利 益	345	170	280	400	120

期中受注・期中売上により、営業利益率も順調に回復



第4四半期の出荷・売上増へ向けて、棚卸資産が増加

(百万円)	2020年度		2021年度	
	12月31日	9月30日	増減	
資産の部				
流動資産	6,082	6,354	272	
現金及び預金	2,721	2,283	▲ 437	
売掛金	1,610	1,908	298	
棚卸資産	1,699	2,084	385	
その他流動資産	51	77	26	
固定資産	1,255	1,163	▲ 91	
建物	472	447	▲ 25	
土地	312	312	0	
その他有形固定資産	204	164	▲ 40	
無形固定資産	61	60	▲ 1	
繰延税金資産	92	111	18	
投資その他資産	110	67	▲ 43	
資産合計	7,337	7,518	180	

(百万円)	2020年度		2021年度	
	12月31日	9月30日	増減	
負債純資産の部				
流動負債	626	1,190	564	
買掛金	177	399	221	
リース債務	73	287	213	
未払法人税等	93	42	▲ 50	
製品保証引当金	48	49	0	
役員賞与引当金	0	2	2	
その他流動負債	232	408	176	
固定負債	290	—	▲ 290	
リース債務	268	—	▲ 268	
長期未払金	21	—	▲ 21	
純資産	6,420	6,328	▲ 92	
株主資本	6,420	6,328	▲ 92	
負債純資産合計	7,337	7,518	180	

工作機械業界は好調に推移

工作機械受注

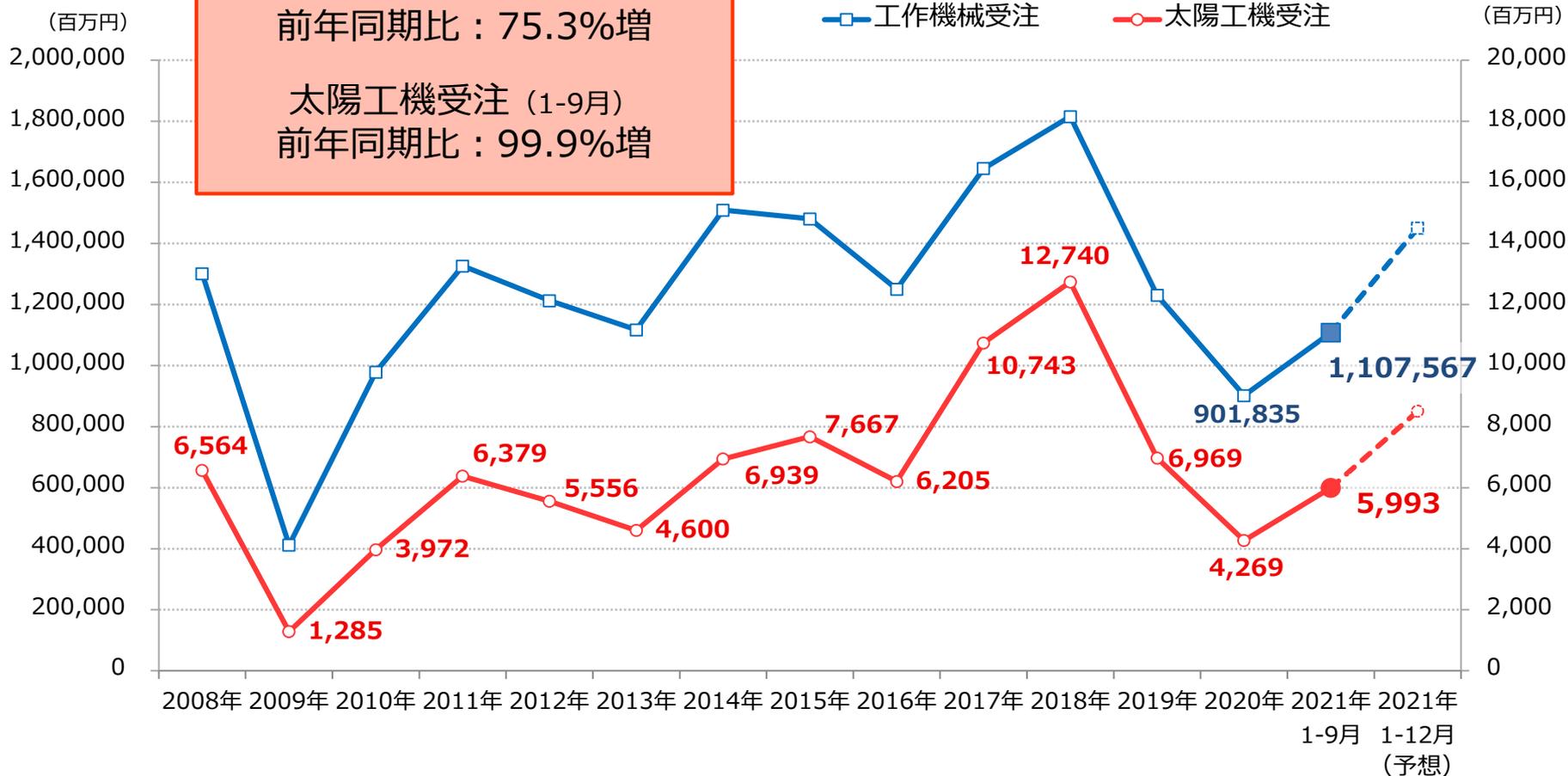
太陽工機受注

日本工作機械受注 (1-9月)

前年同期比：75.3%増

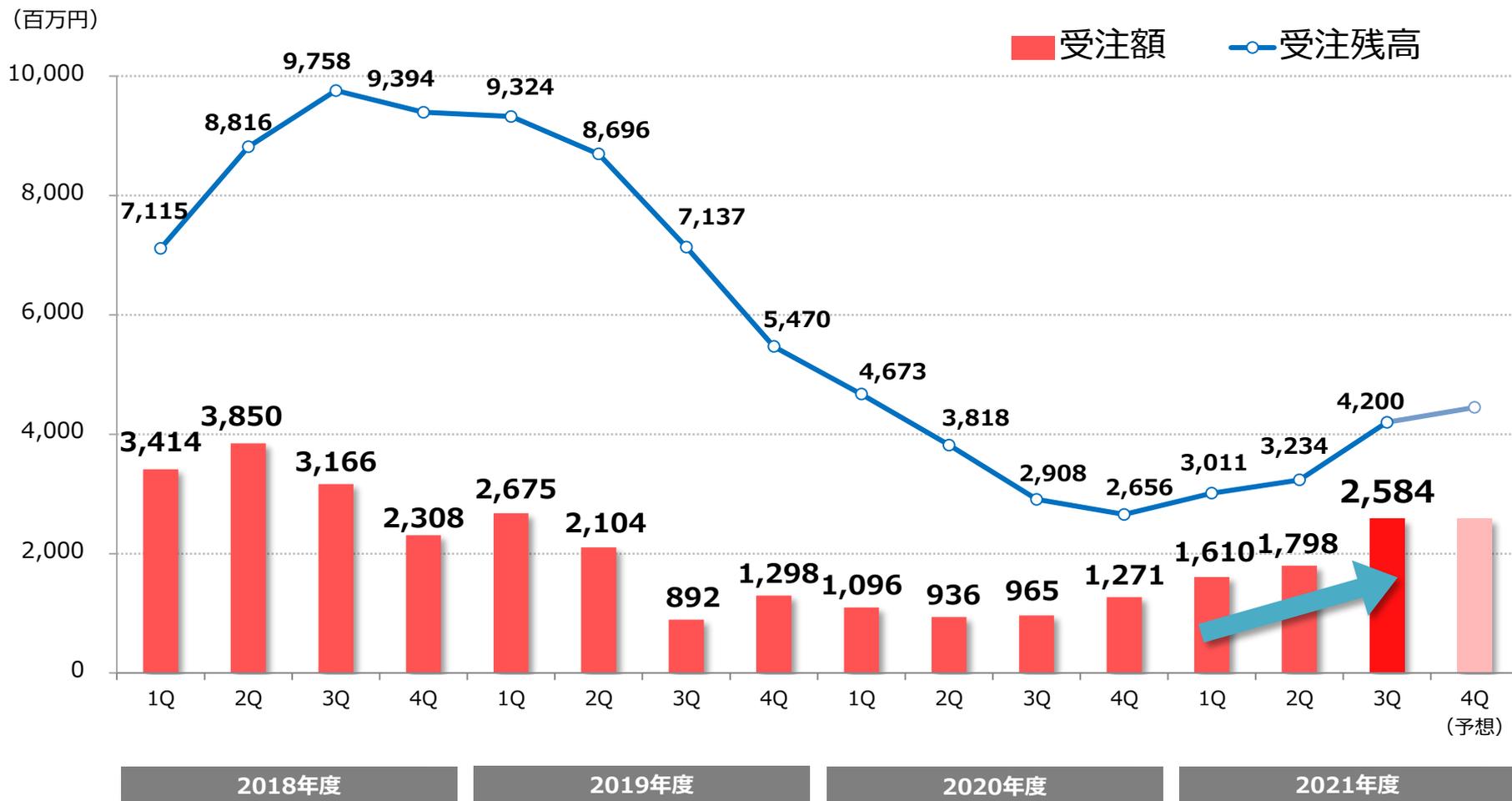
太陽工機受注 (1-9月)

前年同期比：99.9%増



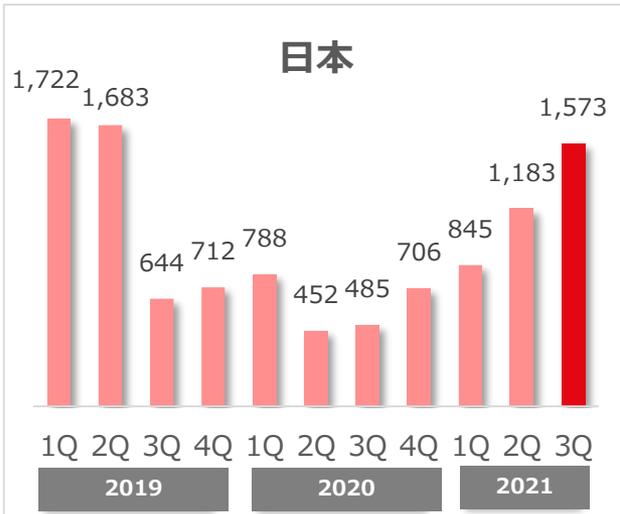
※工作機械受注…日本工作機械工業会受注実績より

受注は引き続き増加基調、第3四半期は一段階アップ

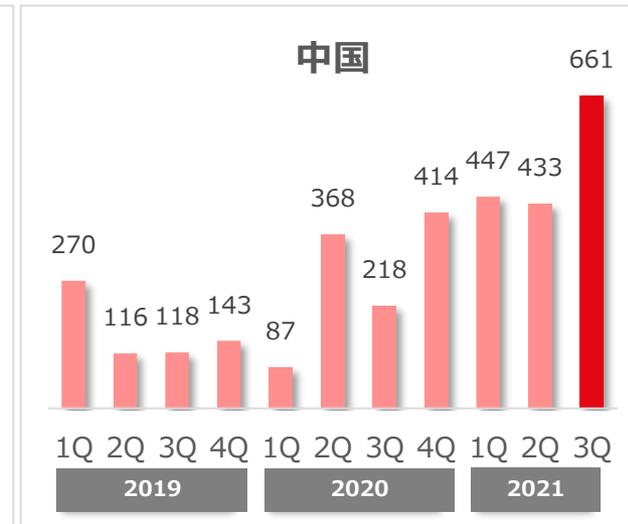
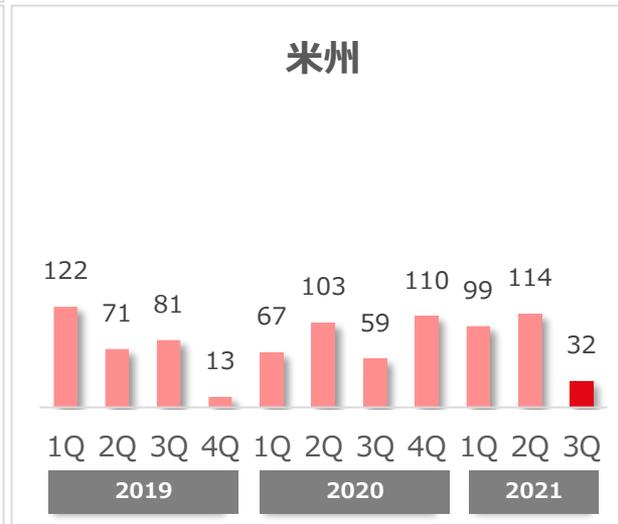
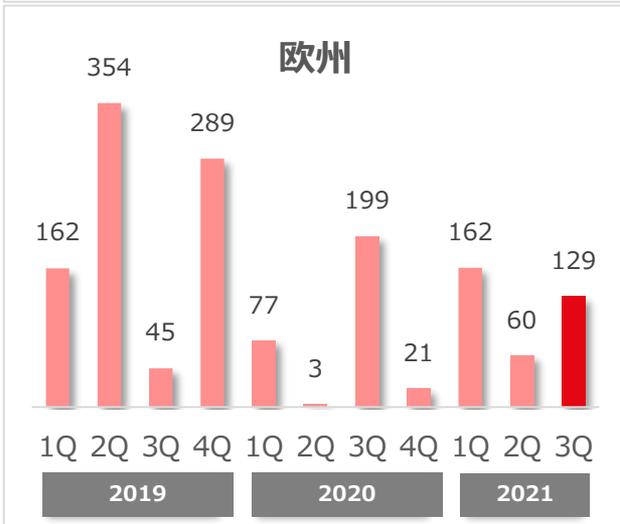


日本と中国が好調、欧州・米州は足元の引合増加

受注高
(百万円)

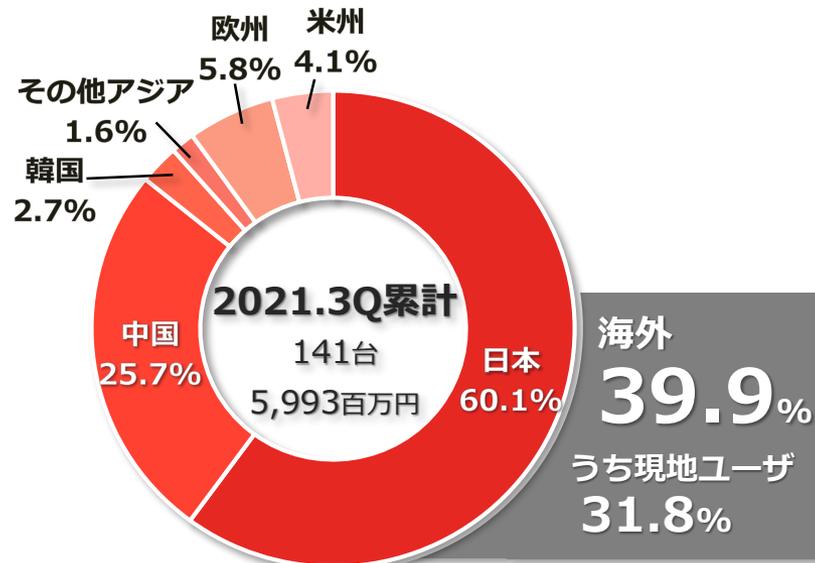
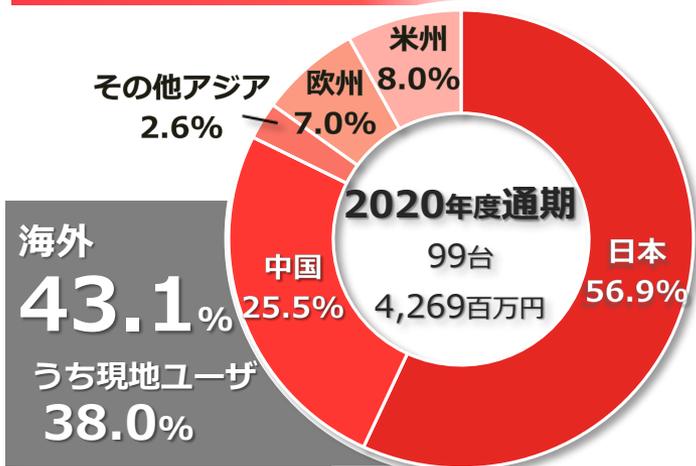


- 国内市場：順調に回復
- 中国市場：過去最高を更新
- 欧米市場：足元の引合増加、回復の兆し

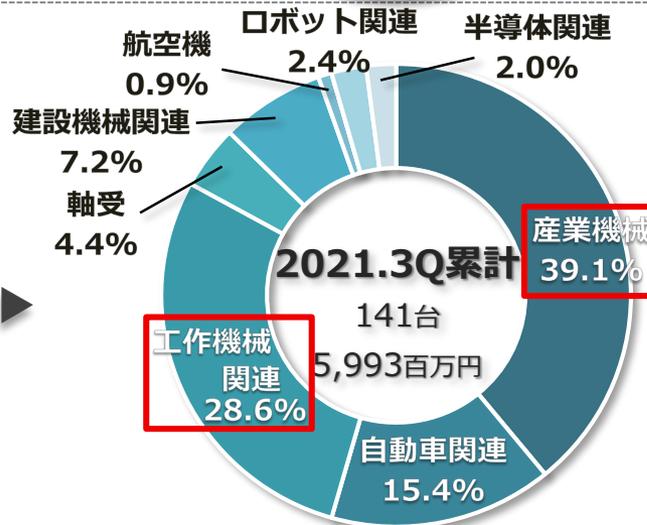
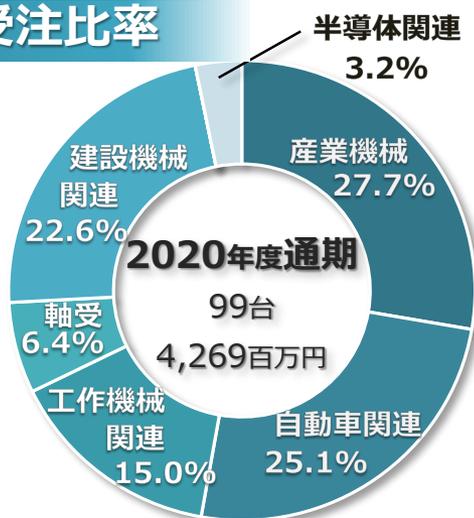


海外比率約40%、産業機械と工作機械関連が好調

据付地別 受注比率



業種別 受注比率

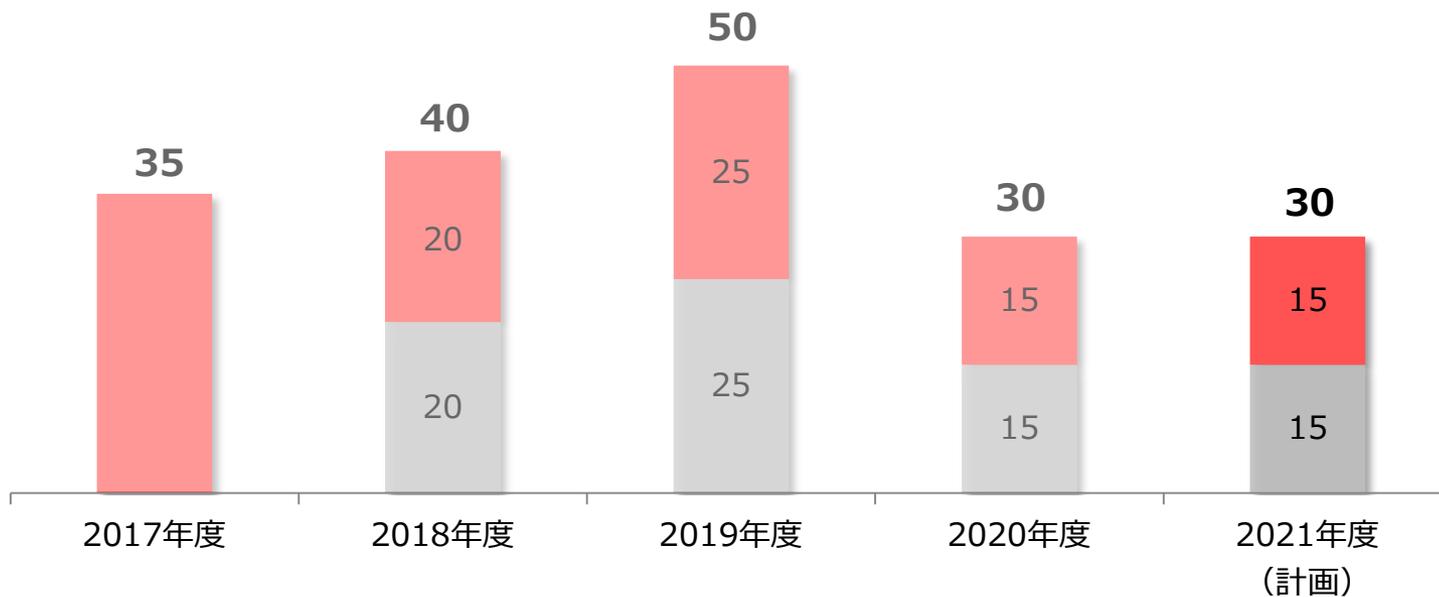


期末配当金は15円を予定

配当金
(円)

■ 中間配当金

■ 期末配当金



配当性向

31.5%

20.4%

24.2%

51.6%

44.2%

※2019年度より株式分割後（2分割）の配当金となっております

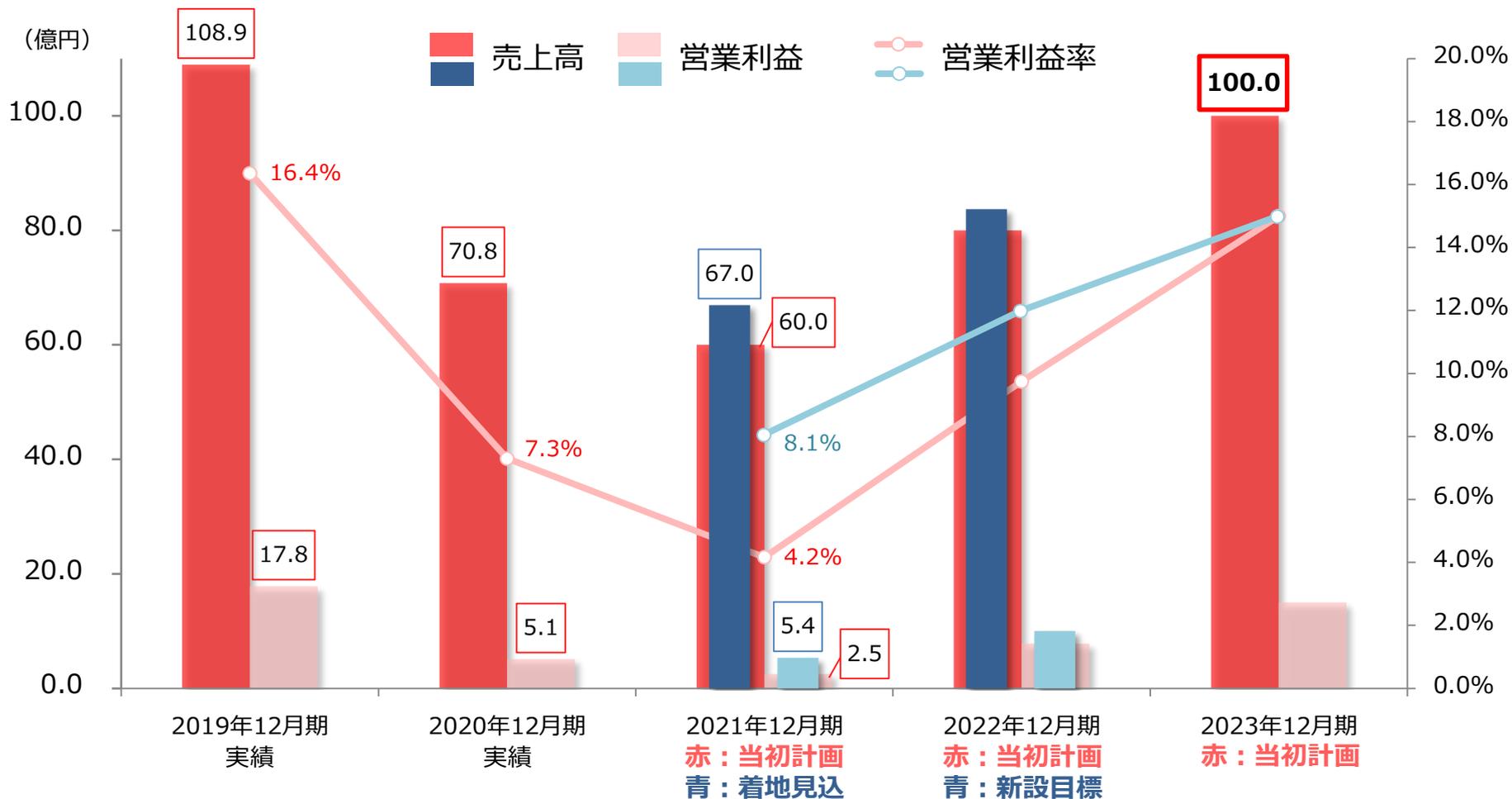
※2018年度以前の数値は各期を比較しやすいよう、株式分割後の金額にて記載しています

Strategies & Topics

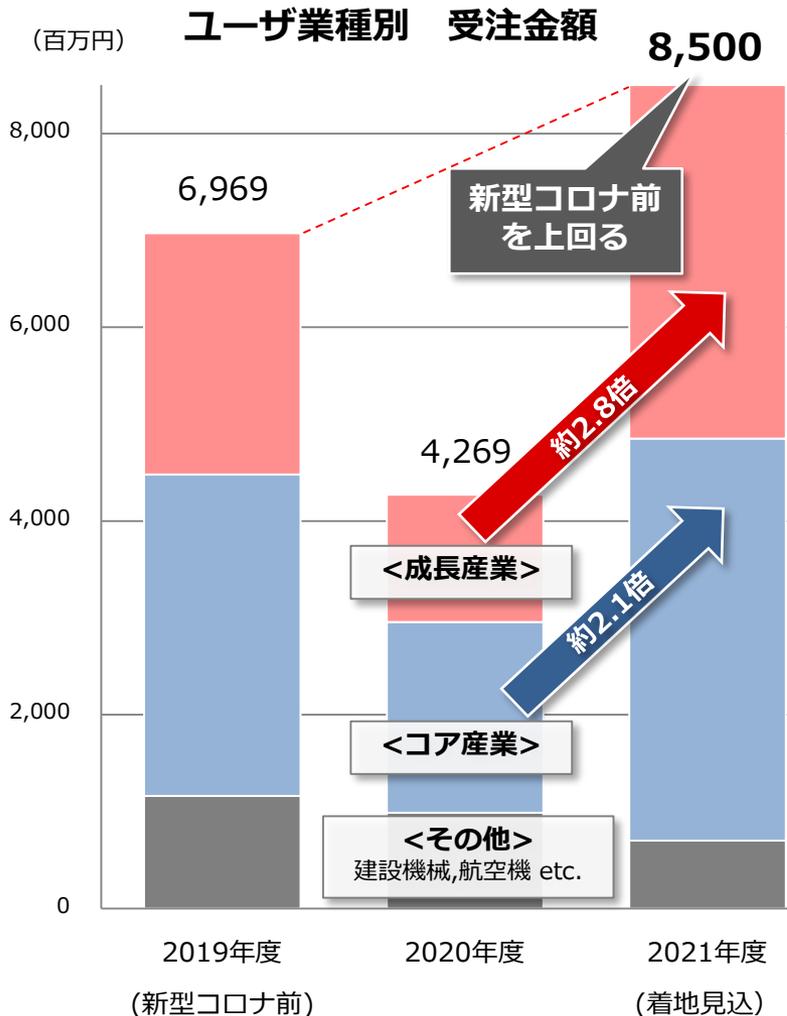
経営戦略・トピックス

2023年12月期 売上高100億円目標（当月初計画）

⇒ 受注好調につき回復スピードアップを見込む



成長・コア産業がけん引し、新型コロナ前の受注を上回る



成長産業

産業機械

半導体

ロボット

グリーンエネルギー

- 産業機械関連：設備投資需要が拡大
- 半導体関連：引合増加で回復の兆し
- ロボット関連、グリーンエネルギー関連：継続的に注力、需要取込み図る

コア産業

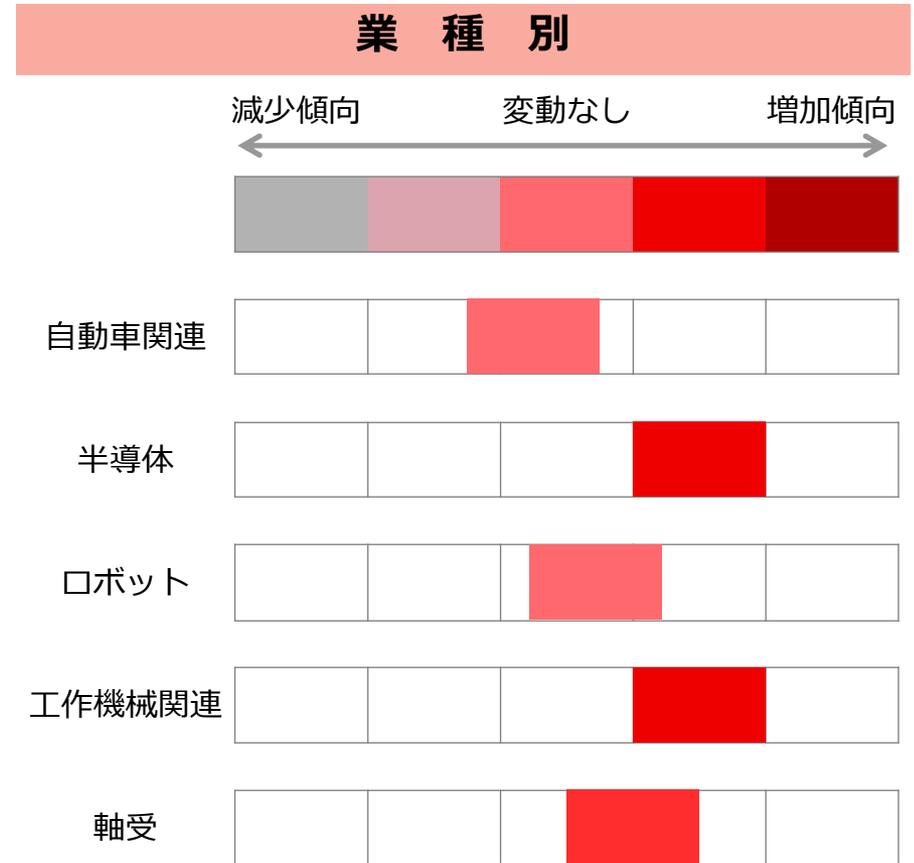
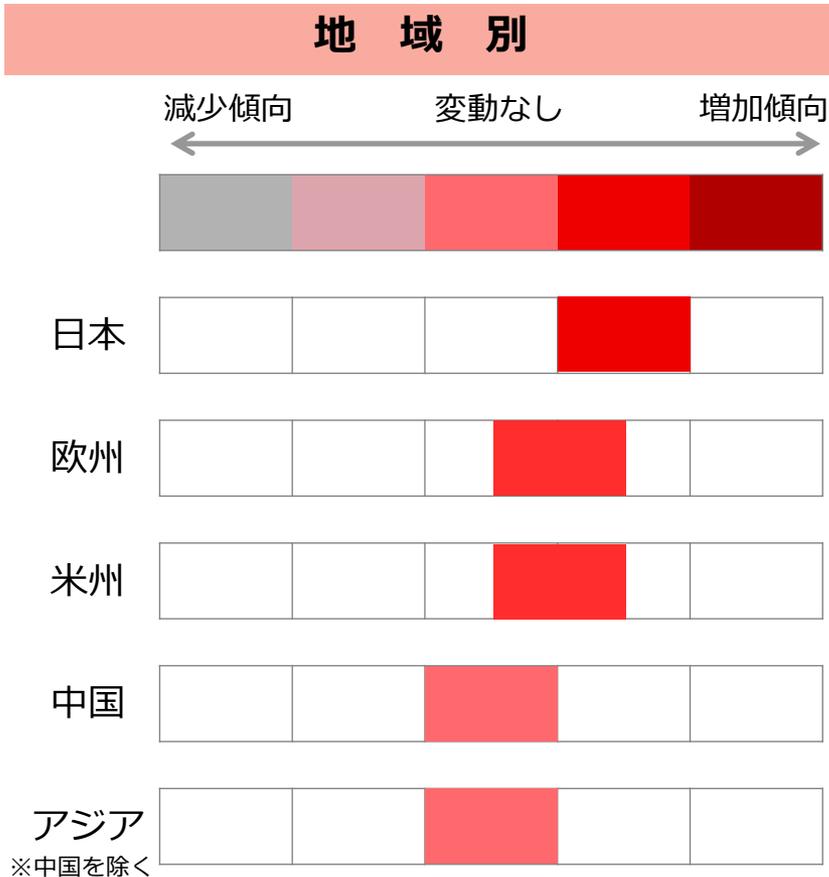
工作機械

自動車

軸受

- 工作機械関連：経済活動の回復により需要増加
- 自動車関連：新たな投資(EV化・自動運転)の取込み
- 軸受：取替・更新需要増、積極的にニーズを取込む

日本・欧州・米州／半導体・工作機械関連が強含み



※ いずれも2021.4Q以降の当社受注予想

海外展開強化に向けた 次世代の円筒研削盤

・円筒研削盤のラインナップ強化

- － 研削盤市場の約4割(*)を占めるボリュームゾーン ※日本工作機械工業会2020年受注実績より
- － CEマーキング (EU基準) 適合
- － 多言語対応の対話式オペレーションシステム標準化

・従来機よりもさらに幅広いニーズに対応

- － CGX25/30 : 小・中物ワーク向け (自動車関連など)
- CGX25/60,100 : 長尺ワーク向け (工作機械関連など)
- － オプションで多彩な複合加工・オートメーションに対応



メカトロテックジャパン 2021

会期

10/20(水) ~ 10/23(土)

会場

ポートメッセなごや 3号館

出展機種

CNC立形複合研削盤 (小型タイプ)
IGV-3NT



[IGV series
\(YouTube\)](#)

CNC立形複合研削盤 (中・大型タイプ)
Vertical Mate 55

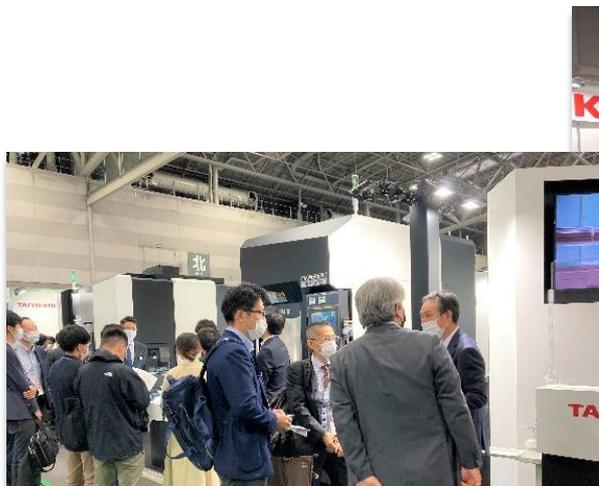


[Vertical Mate series
\(YouTube\)](#)

CNC円筒研削盤
CGX25/30 (w/ローダシステム)



[CGX series
\(YouTube\)](#)



Questions & Answers

Q&A

 Index

- ・ 2021年度第3四半期の業績について？ …p.21

- ・ 2021年度着地見込みについて？ …p.22

- ・ 2022年度の見通しについて？ …p.23

- ・ 配当政策について？ …p.23

Q : 2021年度第3四半期（7-9月）の業績について？

A : 2021年度第3四半期の受注金額は、前四半期（2021年4-6月期）比43.7%増の25.8億円（台数54台）となりました。産業機械関連向けが同91.0%増の12.7億円（前四半期6.6億円）と寄与したほか、工作機械関連向け4.8億円、軸受関連向け2.6億円、ロボット・半導体向け2.5億円、自動車関連向け1.9億円と、着実に回復しています。

売上高は前四半期比2.7%増の16.1億円（台数39台）、営業利益は117百万円（前四半期比16.2%増）、営業利益率は7.3%（同0.9ポイント改善）となりました。売上高は微増となりましたが、期初から取り組んできた固定費・外注費等の削減により、営業利益率は改善しています。

なお、生産については8月より能力を一段階アップさせ、月あたり6～7億円（18台程度）での生産体制で取り組んでおります。引き続きリードタイムの短縮に努め、売上高増額を目指してまいります。

Q : 2021年度着地見込みについて？

A : 今年8月5日に増額修正した計画を再度見直し、通期売上高を67億円（165台程度）へ増額修正いたしました。第3四半期に先行生産を開始していた機種（Vertical Mateシリーズ）の受注を獲得し、第4四半期で売上計上できる目途が立ったことから、売上高を3億円積み増しています。

生産については、新型コロナウイルス感染症の影響により電子部品等に不足が見られるものの、概ね計画通り進捗しています。現時点で第4四半期の売上高は約22億円（月あたり約7.5億円）を見込んでいますが、受注は好調に推移していますので、リードタイムの短縮と更なる生産能力の増強を図り、通期売上高67億円を最低ラインとして、更なる売上高増額を目指してまいります。

また通期利益の計画値は、営業利益を5.4億円（8月5日計画比1.8億円増）、営業利益率を8.1%（同2.5ポイント増）に修正しました。期末へ向けて、生産能力増強や短納期対応による外注費等の増加、メカトロテックジャパン2021の展示会費用が見込まれますが、複数台ロット生産による原価低減効果もあり、修正後計画を達成出来る見通しです。

Q : 2022年度の業績見通しについて？

A : 受注については、活発な設備投資需要が続く産業機械、工作機械関連企業向けや、引合いが増加している半導体関連企業向けを中心に、2021年度第4四半期以降も好調に推移する見通しです。

その結果、2021年度末の受注残高は約45億円となる見込みです。2022年度は比較的豊富な期初受注残高と好調な需要環境を背景に、売上高は当期比25%増、営業利益率12%を最低ラインとして計画しています。

Q : 配当政策について？

A : 2021年度は1株あたりの年間配当金を30円（利益予想に対する配当性向は44.2%）としています。

配当政策については、配当性向30%を目安としておりますが、持続的かつ安定的な配当を行うことも重要視しており、2020年度の1株あたり年間配当金30円を据え置いています。

TAIYO KOKI

One machine, One answer

(証券コード : 6164)

IRに関する
お問い合わせ先

株式会社太陽工機 管理部

TEL: 0258-42-8808 URL: www.taiyokoki.com



【将来予測について】

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ▶ 為替相場の変動
- ▶ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- ▶ タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- ▶ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

【お取り扱い上のご注意】

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。